

## 2012（平成24）年度 事業報告

### 1 協議会会員の加入及び脱退

#### (1) 加入自治体（6自治体）

栃木県<sup>とちぎし</sup>栃木市、岐阜県<sup>みずほし</sup>瑞穂市、兵庫県<sup>かさいし</sup>加西市、  
奈良県<sup>こうりょうちょう</sup>広陵町、福岡県<sup>あかむら</sup>赤村、熊本県<sup>たらぎまち</sup>多良木町

#### (2) 脱退自治体（3自治体）

大阪府<sup>とんだばやしし</sup>富田林市（理由：財政事情のため）  
千葉県<sup>ちようせいむら</sup>長生村（理由：財政事情のため）  
神奈川県<sup>さむかわまち</sup>寒川町（理由：財政事情のため）

会員自治体数 285（平成25年3月31日現在）

### 2 第29回日本非核宣言自治体協議会総会の開催

2011（平成23）年度決算・事業報告、2012（平成24）年度予算・事業計画、2012（平成24）年度役員体制、総会決議文の議案を決議した。

また、総会決議を採択した。

- (1) 開催日 2012（平成24）年5月30日（水）
- (2) 開催場所 長崎ブリックホール国際会議場（長崎市）
- (3) 参加者 66自治体89人（うち非会員7自治体7人）
- (4) 総会決議 決議文を、日本国政府内閣総理大臣・外務大臣、  
在本邦大使館166カ国をはじめ、  
国連事務総長・ジュネーブ軍縮部、  
朝鮮民主主義人民共和国、国連北朝鮮代表部大使に送付した。



第29回日本非核宣言自治体協議会総会



## 5 非核宣言実施状況の調査

国内の自治体の宣言実施状況の把握、及び、自治体による宣言実施の促進を図ることを目的として、宣言実施の有無等について調査を行った。

- (1) 調査対象 229自治体（非核・平和宣言をしていない自治体のみ）
- (2) 調査基準日 2012（平成24）年9月1日
- (3) 調査結果 6自治体が宣言を実施していることが判明した。

## 6 協議会未加入自治体への加入案内等

協議会への加入を促進するために、協議会未加入の自治体に対して、2012（平成24）年9月に加入案内を送付した。また、未加入自治体首長への加入要請等を行った。

- (1) 加入案内送付対象 1,502自治体  
（内訳）非核宣言自治体：1,273自治体  
未宣言自治体：229自治体
- (2) 未加入自治体首長への加入要請及び会員自治体首長への加入促進への協力要請  
青森県青森市（25年度から加入）、沖縄県うるま市、東京都港区、兵庫県宝塚市、宮城県内17市町村（七ヶ宿町、大河原町、村田町、丸森町、利府町の5自治体は平成25年度からの加入の意思を表明している。）

## 7 核兵器廃絶に関する情報や資料の収集及び普及

自治体の平和行政推進に係る参考資料等の配布、平和事業に関する調査を行った。

- (1) 核軍縮に関する書籍の配布
  - ア 書籍名 NPO法人ピースデポ発行「イアブック核軍縮・平和2012」
  - イ 対象 287自治体（協議会会員）
- (2) 「平和宣言（広島市）」、「長崎平和宣言」、「長崎平和宣言解説書」の配布
  - ア 対象 1,788自治体  
（内訳）会員自治体：286自治体（長崎市は除く）  
非会員自治体：1,502自治体
- (3) 2012（平成24）年度平和事業調査  
会員自治体を対象に各自自治体が行っている平和事業の実績を収集する。
  - ア 調査対象 287自治体（協議会会員）
  - イ 調査基準日 2012（平成24）年10月1日
  - ウ 調査結果 216自治体が平和事業実施  
（実施事業については協議会ホームページに掲載）

## 8 各種事業の実施

### (1) ホームページによる情報発信

協議会ホームページ (<http://www.nucfreejapan.com/>) を運営し、協議会の各種事業、抗議文や要請文、各自治体の宣言文等の掲載を行っている。

### (2) 被爆アオギリ・被爆クスノキの苗木配布

協議会設立20周年事業として、2002（平成14）年度から実施しており、被爆アオギリ（広島）・被爆クスノキ（長崎）双方の苗木を、要望があった自治体に配布している。

#### ア 配布実績（11本）

- ・ クスノキ 6自治体 計9本  
宮城県美里町1本、山梨県甲府市1本、  
山梨県南アルプス市1本、長野県高森町2本、  
兵庫県宝塚市1本、福岡県久留米市3本
- ・ アオギリ 2自治体 計2本  
宮城県美里町1本、山梨県甲府市1本

#### イ 累積配布実績（平成14～24年度）

- ・ クスノキ 延べ66自治体、123本配布
- ・ アオギリ 延べ45自治体、68本配布



兵庫県宝塚市に植樹された被爆クスノキの苗木

### (3) 巡回原爆展の開催

協議会設立20周年事業として2003（平成15）年度から実施しており、原爆写真パネルを各ブロック幹事で保管し、要望があった自治体に貸出を行っている。

#### ア 巡回原爆展開催実績

(ア) 開催自治体数 14自治体

北海道旭川市、北海道洞爺湖町、宮城県美里町、山形県山形市、群馬県渋川市、東京都中野区、東京都杉並区、東京都練馬区、山梨県南アルプス市、愛知県愛西市、愛知県武豊町、広島県福山市、広島県廿日市市、沖縄県南風原町

(イ) 延べ入場者数 3,890人（入場者数の報告がある場合のみを集計）

#### イ 累積開催実績（統計を取り始めた平成19～24年度）

(ア) 開催自治体数 延べ93自治体

(イ) 延べ入場者数 54,659人

### (4) ミニミニ原爆展・姉妹都市原爆パネル展の開催

2009（平成21）年度事業として、小スペースでも展示できるよう資料内容やサイズを見直した原爆写真資料を作成。また、海外での展示も見据え、日英の他に、10カ国語に翻訳したデータを作成。

2012（平成24）年度は、新たに中国語（繁体字）、アラビア語の海外ミニミニ原爆展ポスターを作成した。

#### ア ミニミニ原爆展開催実績

(ア) 開催数 61自治体・団体、延べ130箇所

(イ) 延べ入場者数 76,550人

（入場者数の報告がある場合のみを集計）

#### イ 海外へのミニミニ原爆展ポスター配布実績

(ア) 英語版 長崎平和特派員、国際観光船乗務員（アメリカ）

(イ) 中国語(繁体字)版 台湾外交部、台湾衛生署、紅十字会、台湾被爆者の会、交流協会（台湾）

(ウ) アラビア語版 長崎平和特派員（スーダン）

(エ) スペイン語版 被爆者団体

#### ウ 累積開催実績（平成21～24年度）

(ア) 開催数 延べ252自治体・団体

(イ) 延べ入場者数 343,646人

#### (5) 核実験等への抗議・要請

核実験が実施された場合等、協議会として抗議文を関係先へ送付している。2012（平成24）年度は、駐日米国大使館へ抗議文を4回送付し、同じく朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）本国及び国連北朝鮮代表部大使へ抗議文を送付するとともに、日本政府（外務省）に対して北朝鮮への厳正な対応について要請を行った。

また、2012（平成24）年10月22日、国連総会第一委員会において、スイス政府、ノルウェー政府など非核保有国30か国以上が、核兵器の非人道性に焦点をあて「核兵器を非合法化する努力の強化」を促すための共同声明を発表し、日本政府が賛同しなかったことに対して、日本政府（外務省）へ要請文を送付した。

	抗議文送付日	相手国	内 容	核実験等の実施時期
1	平成24年9月19日	米国	核性能実験への抗議	平成24年4～6月
2	平成24年9月24日	米国	核性能実験への抗議	平成24年8月27日
3	平成24年12月7日	米国	臨界前核実験への抗議	平成24年12月5日
4	平成25年2月12日	北朝鮮	核実験への抗議	平成25年2月12日
5	平成25年3月12日	米国	核性能実験への抗議	平成24年10月～12月

	要請文送付日	要請先	内 容
1	平成24年10月23日	日本政府	国連総会における共同声明に関する要請
2	平成25年2月12日	日本政府	北朝鮮の核実験への対応に関する要請

#### (6) 親子記者事業の実施

会員自治体の小学生とその保護者9組を記者として募集し、被爆地の平和への取り組みを全国へ広めるとともに、核兵器廃絶と平和の願いの継承を図った。

2012（平成24）年度は、全国から150組の応募があった。抽選で選ばれた親子9組は、8月8日から11日にかけて長崎市内で行われた平和関連行事や被爆者等への取材を行い、「おやこ記者新聞」として発刊し、会員自治体等に配布した。事業終了後、参加者は、首長表敬や学校での集会等でそれぞれ事業報告を行った。

- ア 開催日 2012（平成24）年8月8日（水）～11日（土）
- イ 開催場所 長崎市内（プレスセンター：長崎市平和会館）
- ウ 参加者数 9組（各ブロック1組）（応募者数150組）
- エ 配布先実績 協議会会員286自治体ほか応募親子、取材先等、  
合計1,020部を配布した。

(7) 親子記者5周年記念フォトコンテスト事業

全国から写真を募集する「ピースフォトコンテスト」を開催した。また、フォトジャーナリスト渡部陽一氏による「渡部陽一氏フォト・ワークショップ」を開催した。

ア ピースフォトコンテスト

(ア) テーマ 平和な瞬間の顔

(イ) 募集期間 2012(平成24)年5月18日(金)～7月13日(金)

(ウ) 応募点数 一般の部137点、こどもの部33点 計170点

(エ) 審査方法 事前審査により、一般の部、こどもの部にそれぞれの優秀作品を選出し、その中から渡部陽一氏がフォト・ワークショップの中で最優秀賞2点を選出した。

イ 渡部陽一氏フォト・ワークショップ

(ア) 開催日 2012(平成24)年8月10日(金)

(イ) 開催場所 長崎市平和会館ホール

(ウ) 参加者数 一般市民約350人

(8) 平和市長会議原爆展開催支援事業

平和市長会議が加盟都市数5,000都市を突破したことを記念して原爆展の開催を呼び掛けていることから、平和市長会議に協力するとともに協議会会員の原爆展開催を支援するため、平和市長会議原爆展ポスターを作成し、会員自治体に配布した。

ア 作成数 300セット(1セット:B2版19枚)

イ 配布自治体 287自治体

ウ 平和市長会議加盟都市5,000突破記念原爆ポスター展開催実績  
(協議会会員のみ集計)

(ア) 開催数 131自治体、延べ153箇所

(イ) 延べ入場者数 159,808人

(入場者数の報告がある場合のみを集計)



平和市長会議加盟都市5,000突破記念原爆ポスター展